

単元名: Our school video to Peru ～ペルーの生徒に学校生活を紹介します!～		
氏名: 本倉 佳世子	学校名: 神戸市立原田中学校	
担当教科: 英語	実践教科: 英語	
時間数: 9時間	対象学年: 1年	人数: 33人
使用教材: 『NEW HORIZON English Course 1』(東京書籍)、研修にて撮影した写真、ワークシート、スライド		

【実施概要】

【1】単元の目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形を用いて、今していることについて紹介する文を作ることができる。(知識・技能) ・海外の生徒に向けて、自分の学校生活について紹介することができる。(思考・判断・表現) ・日本とペルーの違いを理解しようとし、ペルーの生徒の立場に立ってビデオの内容を考えようとしている。(主体的に学ぶ力) 		
【2】単元の評価規準	(ア) 知識・技能	・現在進行形を用いて、自分の学校生活について紹介する文を、正しく書くことができる。
	(イ) 思考・判断・表現	・読み手を意識して文章構成し、自分のことについて、学習した文法を駆使して表現することができる。 ・相手に伝わりやすくするために、ジェスチャーや発音などの工夫を加えることができる。
	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度	・ペルーと日本の違いを理解し、ペルーの生徒が興味を持つような内容にする努力が見られる。 ・ジェスチャーや発音など、相手に伝わるように工夫や努力をする姿が見られる。
【3】単元設定の理由	<p><生徒観> 新しいことを知ることに大変積極的であり、多様性を受け入れる土台が作られている。一方で、一瞬の気持ちから心無い言葉を放ってしまったり、他人の気持ちを考えたりということが難しい生徒もいる。日常への感謝が薄く、不満をもちやすことも多い。自分の考えと異なるものに出会ったとき、否定的な発言をしてしまう生徒もいる。世界の文化を知ること、それぞれの国での常識が存在することを知り、それを認め合う楽しさに気づくことで、異文化理解の意識を育み、国際社会で生きる姿勢を身に着ける一歩としたい。</p> <p><教材観> グローバル化により、国境を越えて人と交流する機会は格段に増加した。今後更に交流が増えていくことが予測される未来を生き抜くためには、文化の異なる相手とともに協働するべく、多様性を尊重する意識が必要となる。近年、在日外国人が増加傾向にあることを鑑みても、異文化理解の姿勢の涵養は喫緊の課題であると言える。</p> <p>本単元は、教科書『NEW HORIZON English Course 1』(東京書籍)の「An Online Tour of the U.K.」という単元を基に計画している。本教科書単元は、イギリスでのオンライン観光のツアーを題材としており、単元のゴールとして、自分の学校や町について写真を見せながら紹介することが位置付けられている。授業者は、教師海外研修にて、ペルーの学校を訪問し、多くの日本の学校との違いを発見した。英語による学校紹介ビデオを制作する過程で、身近な学校生活を題材として、日本とペルーの違いを考えることにより、異文化理解への姿勢を育む機会として位置付けたい。</p>	

<指導観>

本単元は、ペルーの生徒に向けて自分たちの学校生活を英語で紹介するビデオ制作をゴールアクティビティとして据えている。普段、ゴールアクティビティの発信先として、ALTがターゲットになることが多いが、ALTでなく、同じ子どもとの生のコミュニケーションを通して、新たな価値観に出会い、世界に対してアクションを起こすことの楽しさを知る機会としたい。

英語教育は、国際理解と深く結び付いている。世界の人々に関わる際のコミュニケーションツールである英語を学ぶことは、同時に、文化や価値観の異なる相手に対して、どのように思いや考えを伝えるべきかを考えることである。そのためには、言語の背景にある文化を理解し、受け入れる姿勢が必要となる。本単元での学びを通して、異文化理解への意識を深め、それを言葉として表現し、実際のコミュニケーションへとつなげる機会としたい。

【4】展開計画(全9時間)

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	【現在進行形肯定文】 現在進行形肯定文の仕組みと使い方を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャービンゴを通して、現在進行形肯定文の仕組みと使い方を学習する ・ジェスチャーゲーム ・プリントまとめ ・イラストビンゴのマスに使う文を考える ・作った文でイラストビンゴを行う ・【評価】現在進行形の意味と形を正しく理解し、それを用いて、ピクチャービンゴのマスになる文を作ることができる(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・SKY MENU (授業支援ツール)
2	【Part1: エディの日記を作ろう】 アナとエディの通話を読み、内容を理解し、現在進行形肯定文の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に出てくる語彙を練習する ・本文を読み、エディの視点で日記を書く ・クラスメートの日記を見て、ポイントを確認する ・本文を音読する ・【評価】アナが電話をかけてきた理由や、そのときのエディの気持ちを含み、エディ視点の日記を書くことができる(思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・教科書
3	【現在進行形 否定文・疑問文】 現在進行形の否定文・疑問文の仕組みと使い方を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーゲームを通して、現在進行形の否定文と疑問文を発話する ・プリントにまとめる ・【評価】ペアが行っているジェスチャーを見て、何をしているかたずねることができる(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート

4 本時	【Unit Project:ペルーと日本の学校生活の違いを知ろう】 学校紹介ビデオに盛り込むポイントを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトランゲージを行い、ペルーと日本の学校生活の違いを挙げる ・班で紹介する場面を選び、気づいた違いを文にする ・【評価】ペルーと日本の違いを理解し、ペルーの生徒が興味を持つような内容にする努力が見られる(主体的) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・研修で撮影した写真
5	【Unit Project: ペルーの生徒が興味を持つビデオにしよう】 原稿のポイントを学習し、原稿を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文を見て、良い点と改善点を見つける ・ポイントをもとに、原稿内容を日本語で考える ・グループのメンバーで分担し、日本語から英語を作る ・【評価】ペルーの生徒に向けて、自分の学校生活について紹介することができる(思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・教科書
6	【Part2: イギリスのオンラインツアーをしよう】 ツアーコンダクターと、参加者の会話を読み、イギリスの名所についてペアに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に出てくる語彙を練習する ・本文を前半後半に分け、ペアでそれぞれの内容を整理する ・ペアに自分の読んだ部分の内容を伝える ・確認問題を行う ・【評価】ツアーコンダクターになり、ペアにイギリスの名所を紹介することができる(思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・教科書
7	【Unit Project: 学校紹介のビデオを作ろう】 学校紹介ビデオの撮影を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を読む練習をし、ビデオを撮影する ・【評価】ペルーの生徒に向けて、自分の学校生活について紹介することができる(思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート
8	【Read:自分で学習計画を立てよう】 エディとエディの母のチャットのやりとりを読解するための学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容読解の学習計画自分で立てる ・立てた学習計画に沿って学習を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・教科書
9	【Read: エディの母の気持ちの変化を読み取ろう】 エディとエディの母のチャットのやりとりを読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テストを行い、自由進度学習の成果を図る ・【評価】エディの母の気持ちの変化を読み取ることができる(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・ワークシート ・教科書

【5】本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (10分)	Picture Quiz ・ペアで教師役と生徒役に分かれる。教師役は配布された写真について英語で生徒役に伝え、生徒役は授業者が提示するクイズに答える	・教師役と生徒役に分かれ、それぞれ役割を与えることで、英語が得意な生徒も苦手な生徒も自分に合ったレベルの活動を行うことができるようにする。 ・問題を解くにつれて空欄を多くするなど、徐々に自身で英作文できるように足場かけを作る。	・SKY MENU
(10分)	Oral Introduction ・授業者のペルー研修での生徒との関わりを聞く。 ・単元のゴールの提示 「ペルーの学校に学校紹介ビデオを送る」 ・授業者の作成したナイトルーティンビデオの例を見て、紹介するビデオにどんな点を入れたらよいか考えさせる。	・目的・場面・状況を提示し、生徒に活動に取り組む意義を認識させ、モチベーションをあげる。 ・ペルーと日本で同じ点ばかり挙げるのではなく、異なる点をいれることで、相手がより興味を持って見てくれるという気づきを与える。	・スライド
展開 (15分)	Group Session (Find Differences) ・ペルーの学校の写真と日本の学校の写真を見比べて、異なる点をグループで考える。 ・全体で気づいた点を共有する。	・SKY MENUで写真を配布し、好きなタイミングで写真を拡大し、細かい点まで見ることができるようにする。 ・授業、時間割、休み時間、放課後、校則の5つの場面でそれぞれ意見を出す。	・SKY MENU ・ワークシート
(10分)	Preparation for making a video ・グループを作る。 ・紹介する場面をグループで1つ決める。	・決めやすいように選択肢を作っておくが、紹介したいポイントをグループで選択させることにより、主体的に活動に向かえるようにする。	
まとめ (5分)	Writing ・ビデオで紹介したいポイントを文にする 【評価の場面】 ペルーと日本の違いを理解し、自分の学校生活について紹介する文を、正しく書くことができる。 (知識・技能)	・机間指導にて、スローラーナーを助ける。	・ワークシート

【授業実践の様子】



Picture Quizの様子



Group Sessionの様子

【6】本時の振り返り

生徒たちは、ペルーの写真に写る見慣れないものにとっても興味を示しており、グループでの話し合いでは活発に意見を出し合う様子が見られた。授業者の想定以上に写真の細かい点まで観察しており、授業の写真を見て、机やイスの形が違うことを指摘したり、昼ご飯の写真を見て、水筒に日本のキャラクターが写っていることを指摘したり、授業者が気づくことを予見したポイント以外にも、多くの細かい点まで観察していた。中でも、時間割に興味を示す生徒が多く、グループでの話し合い中に回ると「コミュニケーションの授業って何ですか?」や「このチュートリアルって何ですか?」などと、授業者に質問をする生徒も多くみられた。意見が多く出たため、Find Differenceの活動が予定より時間がかかり、まとめのWriting活動まで時間内に実施することができなかった。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

単元学習後に行ったアンケートでは、「ペルーの人々に学校紹介ビデオを送ろう」という単元末の活動に対し90%が満足していると回答した。以下、その理由を生徒の記述とともに挙げる。

・ペルーの生徒にビデオを送るという交流活動への肯定的な意見

「普段、外国人と話す機会がないので私の英語をほかの国の人に聞いてもらえると思ったら、とてもうれしかったから。」「ペルーの人と関わる機会がなかったのでビデオで互いの文化を紹介をできたのが楽しかったからです。」

・グループ活動に対する肯定的な意見

「原稿をみんなで考えたのが楽しかった」「班の人と話し合って役割を決めたり、が楽しかった」「班のみんなでミスはたくさんしたけど、本番はうまく行って成功したから」

・ビデオ撮影でのパフォーマンスが満足にできなかったという意見

「もう少しはっきりと英語の発音をできた」「詰まらないように紹介したかった」「実際原稿を声に出して発音するのが難しくてもうちょっとうまくしゃべりたかったから」

・ペルーについて知るための時間が十分ではなかったという意見

「もっと登下校の様子など知りたかった」

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

単元学習前に行ったアンケートでは、英語学習の動機として、自分の将来に役立つため、必要性を感じて勉強していると考える生徒が多かった。「新しいことを知りたいという気持ちから」よりも、「英語の資格があれば、将来経済的にも良い生活ができるから」や、「必要になってからあわてて勉強したのでは間に合わないから」の項目が高かった。しかし、単元を通して、英語を通して外国の人に伝わる楽しさを実感できた声が多くみられた。また、今後もっと外国の人と英語でコミュニケーションをとってみたいという声も見られた。

以下、生徒の記述を挙げる。

・「外国の人と異なる文化を共有できたのが楽しかったから」

・「もっと日本について知ってほしい。詳しく伝えたい」

・「もっと詳しく話したかった」

・「日本の学校と、ペルーの学校の違いが分かったのが楽しかった。もっとペルーのことが知りたくなったので今度、調べたいと思った。」

・「外国人に日本の学校生活を紹介するのは初めてだから楽しかった」

また、本報告書を執筆した段階で、まだペルーからのビデオへの返事が返ってきていないため、実際のペルーの生徒からの感想を聞いた後にアンケートをとると、コミュニケーションをとれた実感が湧き、また違った感想が上がってくることが予想される。

【授業を通じた途上国・異文化・多文化共生等への意識の変容】

(授業前)

外国にルーツを持つ生徒がクラスに在籍していた経験を持つ生徒も一定数いたため、異文化を受け入れる土台は作られていると感じた。道徳で国際貢献の授業をした際も、「アフリカでは水が足りず、貧しい生活を送っている人がいる」「募金をするなどして援助をする」などの、表面的な知識を小学校で導入してきたことがうかがえた。しかし、その背景にまで踏み込み詳しく外国の文化を学ぶ機会はあまりなかったようで、ペルーの写真から違いを探す活動では細かい点まで多くの意見が出た。

(授業後)

単元学習後に「外国に住む人と、話したり、ビデオを送ったりして、コミュニケーションをとりたいと思いますか。」というアンケートを行ったところ、「積極的に関わりたい」「機会があれば関わりたい」と肯定的に答えた生徒は約78%であった。授業前に同様のアンケートを行っていないため、比較はできないが、「ペルーという1つの国だけでも知れることが多く面白かった」などの感想から、異文化を知る楽しさを実感した生徒が多いことがうかがえた。一方、「できれば関わりたいくない」「あまり関わる機会が欲しいと思わない」と回答した生徒のほとんどは、英語学習への苦手意識を理由としていた。英語でコミュニケーションをとれたという実感が、国際交流への肯定的な意識につながるのではないかと考える。今後も生徒が英語学習を通して、英語でコミュニケーションをとる楽しさを実感できるような授業を展開していきたい。

【8】自己評価	
1. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・教師海外研修では、ペルーの学校を始め、日系社会とのかかわりや、防災対策、食生活、生活の違いなど多くを学習した。しかし、授業構成の都合上、生徒に提供するの、学校生活に留まり、他に学んだことをカットせざるを得なかった。学習要素の選定に苦労を要した。 ・現地校とのやり取りがうまくいかず、本報告書にペルーからの返事を見た生徒の反応を記載することができなかった。
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が足りなかった。授業者の想定以上に多くの意見が出て、気づきを促そうとしていたポイント以外にも、伝えたいポイントが多く挙がった。しかし、ひとつひとつ取り上げて話す時間はなく、もっと時間があれば、より深い異文化理解につながったのではないかと考える。 ・授業者がもう少しペルーの学校について知る必要があった。ペルーの時間割に「CCSS」という授業があり、これに興味を示し、何をやる授業か質問をした生徒がいたが、授業者も何の授業かわからず、答えることができなかった。研修に行った際に、もう少し現地の教員や生徒に詳しくインタビューでできていればよかった。
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・「ペルーという1つの国だけでも知れることが多く面白かった」などの感想が出たことから、よく聞く国の知識のみでなく、普段あまり聞くことのない国についても知ることに興味を持った生徒がいることがわかる。この点から、よく聞く国の表面的な知識でなく、あまり聞きなじみのない国でも知ることの楽しさを知り、その文化の違いを楽しむ、異文化理解への姿勢を育む一方となったと感じる。 ・リアルなコミュニケーションの機会を提供することで、単元のゴールアクティビティへの生徒のモチベーションがあがったように感じる。活動中も海外の生徒が実際にビデオを見るという点を生徒は意識しており、上手に話そうと努力を重ねる姿が見られた。また、文化は異なるが、学校生活を送っているという同じシチュエーションを共有する、海外の生徒を伝える相手とし、お互いに学校紹介を行うという目的・場面設定を行うことにより、ビデオで紹介する内容を生徒が考案しやすくなったと考える。
4. 備考	特になし

添付資料:

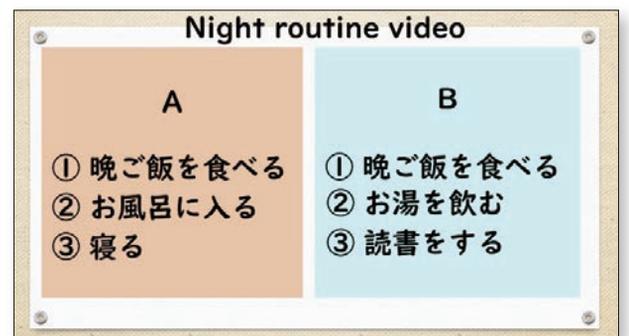
Picture Quizに使用したスライド



Group Sessionに使用したスライド



授業で使用したスライドの一部



添付資料:

授業で使用したワークシート

学校生活の紹介ビデオを作ろう① Class. No. Name _____

STEP 1 ペルーと日本で異なる点を書きだしましょう。

場面	異なる点
授業	
休み時間	
昼ご飯	
放課後	
校則	

STEP 2 グループで紹介する内容を決めましょう。

- ・グループ ()
- ・メンバー
() () () () ()
- ・紹介する場面(○をつけましょう)
授業 ・ 休み時間 ・ 昼ご飯 ・ 放課後の過ごし方 ・ 校則(学校のルール)
- ・動画や写真を見せながら紹介したいポイント(現在進行形を使って表してみよう！)
Ex: We are having lunch box.
